

今できること 淡路JCCの思い

今年度は、私が掲げた「淡路JCC Standard(淡路Jaycee)の志が地域の明日を築く」をスローガンとし、10年後、20年後の淡路島はどうあるべきかをしっかりと考えることとの大切さを訴えて参りました。

そして「未来創造会議」という形で「島民一人ひとりがこれからの淡路島を見据え、他人任せではなく、自らが積極的にまちづくりにかかわる意識を生み出すこと」を目的に事業を行いました。その結果「もっと淡路島らしく」というキーワードが得られました。そして、その結果をケーブルテレビなどのメディアを通じて市民に発信させていただきました。また、8月には「つなごう君のゆく未来へinいえしまキャンプ」を1泊2日で開催し、小学生、中学生、高校生に対して、責任感、自己信頼感、そして、人を思いやり心ある子供の育成を行う事業を行いました。

活動を通じて感じたのですが、将来

淡路青年会議所 才花毅理事長



責任感のある子供の育成として、8月に行った「つなごう!君のゆく未来へinいえしまキャンプ」で

「もっと淡路らしく」を大切に

に対して「夢」を持って行動することの大切さを実感しました。

淡路島の将来像やこれからの自分のあり方を強く議論できるものと思っていました。意外と明確な「夢」や「ビジョン」を語る方が少ないことに気づきました。社会情勢が非常に厳しいため、現実を直視する方が非常に多いとも思いました。地域の明日がどうあるべきかを考えるとき、目標を明確に定め、それに向かって邁進することが非常に重要であると思います。私たちの住む淡路島は資源に富んだ素晴らしい島であり、誇りを持てる島であること。そして、祭りなどを通じて地域の世代間のかかわりを持ってきたことを忘れず、

多岐にわたる活動を通じて、淡路島の発展を切に願って、身近なところから一度取り組んでいきたいと思えます。身近な取り組みとしては、淡路島全体を考えるのがJCCならば、身近な町内会活動などの地域の活動にもできるだけ参画しようとしています。その数々の役割を担うことで資源のリサイクルへの取り組みや祭りの担い手問題なども身を持って体験しています。

「今できることから始めませんか?」。淡路青年会議所(淡路JCC)は、このようなタイトルでCMをつくり、島内のケーブルテレビなどに流した。人口減少の加速が懸念されるなか、淡路JCCのメンバー自身、「私ができること」を随意掲載します。

「今できること」を随意掲載します。